

「スマホ育児」に頼っていませんか

問 生涯学習課(6階) ☎561-2427、FAX561-2488

外出先など、子どもに静かにしてほしいときや場所で、子どもにスマートフォン(以下スマホ)を渡した経験はありませんか。近年のスマホの普及により、保護者が手を離せないとき、乳幼児にスマホで遊ばせる「スマホ育児」なども増え、未就学児の利用が増えています。インターネット関連業者でつくる「子どもたちのインターネット利用について考える研究会」が行った、未就学児の保護者を対象とした、子どもへのスマホなど情報通信機器の利用状況調査によると、「1歳児の4割、3歳児の6割が利用」しているものの、「9割を超える保護者は、視力に与える影響や金銭トラブル、依存などに対する不安を感じている」と回答しています。

スマホには子育てに役立つ知育アプリなどありますが、「スマホ育児」に頼り過ぎてしまうと、乳幼児期から子どものスマホ利用が習慣化してしまう可能性があります。保護者自身のスマホの利用も含めて、長時間の利用を避けることや、就寝前には利用させないなど、家庭でのルール作りが必要です。

乳幼児期の子育ては、保護者が子どもとの時間を第一に考え、子どもとコミュニケーションをとることが大切です。育児にスマホを利用するにしても、子どもとの会話や触れ合いを疎かにしないようにしましょう。「スマホ育児」に頼り過ぎていないか、もう一度見直し、絵本の読み聞かせをするなど、子どもと一緒に過ごす時間を増やしてみませんか。

第56回ふるさと草津俳句会

申・問 生涯学習課「ふるさと草津俳句会」係(6階、☎561-2428、FAX 561-2488、✉shogaku@city.kusatsu.lg.jp)

兼題句と自由句、それぞれ1人5句まで、未発表の作品に限ります。どなたでも気軽に投句ください。

兼題「木蓮」

選者 石倉政苑さん

他 入賞句は、広報くさつ7月号や市ホームページで発表

甲 4月15日(木)まで[消印有効]に、俳句・住所・氏名・年齢・電話番号を書き、市役所や図書館、草津クレアホール、渋川福複センターに設置の投句箱へ。生涯学習課へ郵送かファクス、Eメールでも可

第55回

ふるさと草津俳句会

俳諧の祖「山崎宗鑑」生誕の地にちなみ、年4回開催しています。応募のあった135句から、入賞句を紹介します。

兼題「マスク」

自由句

<p>【入選】</p> <p>マスク越し想いが伝わる句会かな 中野信雄(草津市)</p>	<p>【入選】</p> <p>民あげてマスクはづせる日々を待つ 多賀信子(草津市)</p>	<p>【特選】</p> <p>街灯は昭和の色や雪の宿 葛城巖(栗東市)</p>	<p>【特選】</p> <p>晴れ間見て冬菜分かつや鳥と我れ 藤本修(草津市)</p>
<p>【入選】</p> <p>子の描くバイキンマンもマスクして 板倉有紗(草津市)</p>	<p>【入選】</p> <p>寒風をガンと止めたる比叡の山 後藤敏信(草津市)</p>	<p>【特選】</p> <p>日だまりの冬菜ますます青々と 中村健治(草津市)</p>	





広報くさつの内容は、えふえむ草津(FM78.5MHz)からお届けする「声の広報」や市ホームページでも確認できます。緊急情報や最新情報も発信しているので、ご利用ください。

市ホームページ



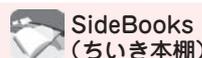
声の広報



2月28日現在(対前月比) 人口135,945人(+29) 男68,285人(+18) 女67,660人(+11) 世帯数60,391世帯(+38)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中



2021(令和3年) 3.15
草津市役所: 千525-8588
滋賀県草津市草津三丁目13番30号
編集発行: 草津市広報課

☎(077)563-1234、FAX(077)561-2483
(8:30~17:15)外と休日ほ守衛室 ☎(077)561-2499
草津市ホームページ http://www.city.kusatsu.lg.jp/

広報くさつは、ホームページで公開しています。地域まちづくりセンターなどの市の公共施設や、JR草津駅・南草津駅、市内の滋賀銀行各支店にも置いてあります。